



盛岡市プレスリリース

～輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡～

令和8年9月11日

教育委員会事務局
歴史文化課

市政記者クラブ加盟社 各位

盛岡市先人記念館 第74回企画展

生誕200年記念「おおしまたかとう大島高任 ―日本近代製鉄の夜明け―」開催について

盛岡市先人記念館では、令和8年が大島高任の生誕200年あたることを記念して、「近代製鉄の父」と呼ばれる高任の西洋技術への挑戦とその生涯について、資料を展示し紹介します。

この機会に是非ご覧ください。

記

【開催期間】 令和8年9月19日（土）～11月23日（月・祝）

【開催時間】 9：00～17：00（入館は16：30まで）

【休館日】 毎週月曜日（祝休日の場合は翌平日）毎月最終火曜日

【場 所】 盛岡市先人記念館2階 総合展示室 企画展示コーナー

【入館料】 一般450円 高校生300円 小・中学生150円

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの介護者、
盛岡市内の小・中学生は入館料無料

【主 催】 盛岡市先人記念館（所管：盛岡市教育委員会）
公益財団法人盛岡市文化振興事業団

【後 援】 釜石市、釜石市教育委員会



釜石市提供

大島高任

【イベント】※イベント1・2・4は入館料が必要です

1. 関連講座「近代製鉄の父 大島高任生誕200年 ～盛岡が生んだ日本産業革命の立役者～」

講 師：森 もり かずよし 一欽 氏（釜石市教育委員会事務局文化財課世界遺産室長）

開催日時：令和8年10月31日（土）13：30～15：00 定員：40人

2. 学芸員講座「大島高任 ―製鉄・教育事業を中心に―」

講 師：河野 聡美（盛岡市先人記念館主任学芸員）

開催日時：令和8年11月7日（土）13：30～15：00 定員：40人

※イベント1・2ともに10月17日（土）9：00から電話＜659-3338＞にて先着順に受付。

会場は盛岡市先人記念館・ホール（地下）、参加費は無料ですが入館料が必要です。

3. ワークショップ「大人も、子どもも レッツ！ 鑄造体験」 講師：釜石市立鉄の歴史館職員

開催日：令和8年10月3日（土）①13：00～14：30 ②15：00～16：30 定員：各回24人

申込：9月12日（土）9：00から電話＜659-3338＞にて先着順に受付 ※小学4年生以下は要保護者同伴

会場：盛岡市先人記念館・ホール（地下） 受講料：700円（入館料は不要です）

4. 担当学芸員による展示解説 ※申込不要。当日、直接会場にお越しください。

開催日：令和8年9月19日（土）・10月25日（日）・11月22日（日） 13：30～14：00

画像は本展周知目的のみに使用してください。

画像データが必要な際は、お問い合わせください。

掲載にあたりクレジットとして所蔵先を明記してください。

掲載紙を一部、先人記念館保存用として寄贈してください。

【問い合わせ先】

盛岡市先人記念館

指定管理者：（公財）盛岡市文化振興事業団

担当：主任学芸員 河野（こうの）

TEL：019-659-3338 FAX：019-659-3387

第74回盛岡市先人記念館企画展

生誕200年記念

太島高任

TAKATO
OSHIMA

2026

9/19(土) 11/23(月祝)

盛岡市先人記念館

2階総合展示室企画展示コーナー

盛岡市先人記念館

指定管理者：公益財団法人盛岡市文化振興事業団

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷2-2

TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387



盛岡市先人記念館HP

—日本近代製鉄の夜明け—

〈開館時間〉 午前9時～午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

〈休館日〉 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)、毎月最終火曜日

〈入館料〉 「個人」一般450円 高校生300円 小・中学生150円

「団体」一般360円 高校生240円 小・中学生120円

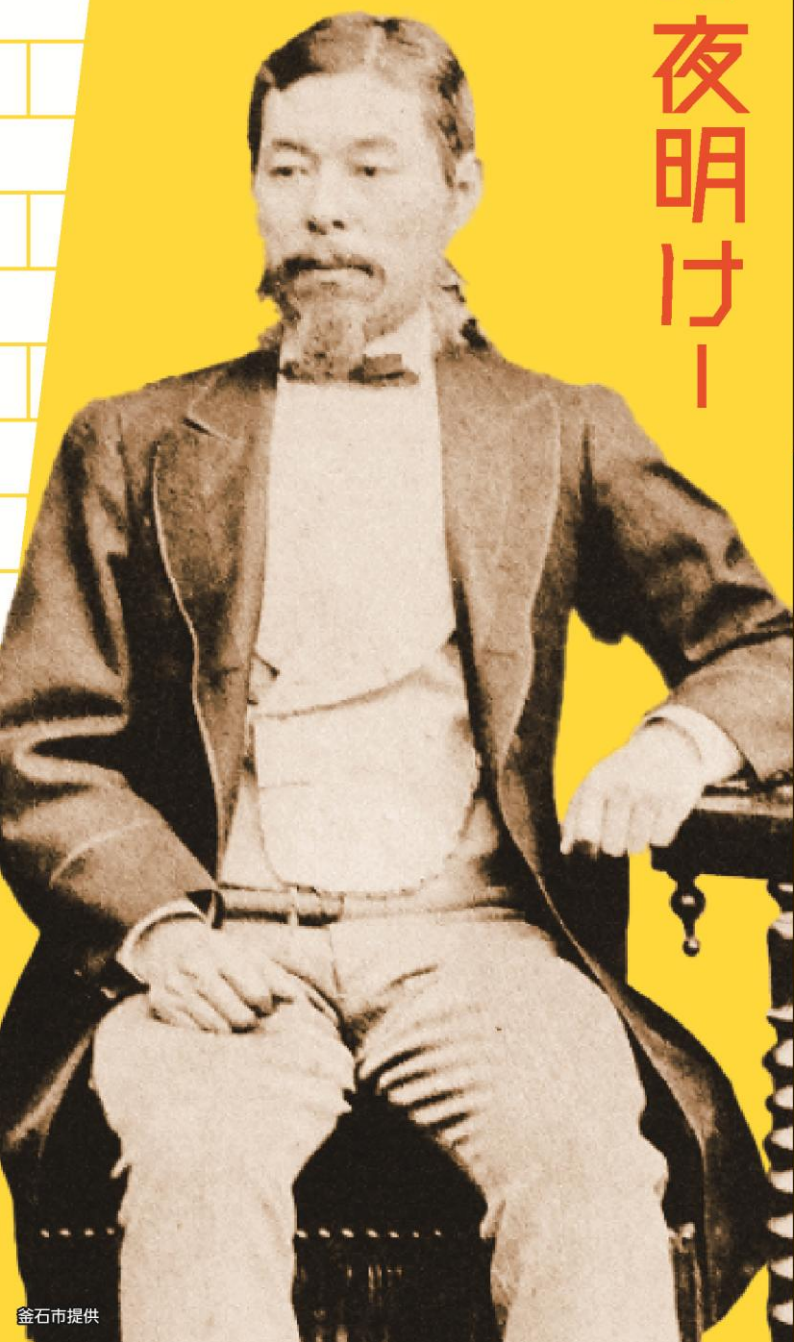
※団体料金は20名以上の団体に適用します。

※盛岡市内の小・中学生、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの介護者は

入館料無料。

※11月3日(火・祝)文化の日は入館料無料。

主催：盛岡市先人記念館(所管：盛岡市教育委員会)・公益財団法人盛岡市文化振興事業団
後援：釜石市・釜石市教育委員会



生誕
200年
記念
記

大島高任

ー 日本近代製鉄の夜明け ー

文政9年(1826)に盛岡で生まれ、江戸や長崎で蘭学を学び砲術や鉄業の知識を習得した大島高任は、水戸藩の反射炉^{※1}建造における技術者の1人として抜擢されます。また、従来の製鉄の原料や技法に固執せず、洋書を頼りに現在の釜石市甲子町に大橋高炉^{※2}を建設しました。安政4年(1857)12月1日、日本で初めて高炉による連続出鉄に成功した高任は、翌年から橋野高炉の建設にも着手しています。現存する日本最古の高炉である橋野高炉を含めた「橋野鉄鉱山」は、平成27年(2015)に「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として世界遺産に登録されています。高任は、明治期以降も小坂・阿仁・佐渡などの主要鉄山の開発を主導し、日本近代製鉄の基礎をつくりました。

また、高任は藩医の八角高遠らとともに洋学校「日新堂」を盛岡に創設、維新後は工部省工学寮(後の東京大学工学部)設置につながる意見書を政府に提出するなど技術者の育成も重視しました。

本展では、令和8年(2026)が大島高任の生誕200年にあたることから、「近代製鉄の父」と呼ばれる高任の西洋技術への挑戦とその生涯について資料を展示し紹介します。

※1 反射炉…内部の熱を反射させて金属を溶かす炉

※2 高炉…鉄鉱石から鉄を取り出す炉

盛岡生まれ。技術者として那珂湊反射炉の建造にあたったほか、釜石に大橋高炉、橋野高炉を建設する。八角高遠らと盛岡に洋学校・日新堂を創設。明治以降は、小坂鉄山・阿仁鉄山(秋田県)、佐渡鉄山(新潟県)など国内の主要な鉄山で指導的役割を果たしたほか、日本鉄業会の初代会長に就任した。



大島 高任
TAKATO OSHIMA
(1826～1901)



那珂湊反射炉で使用された耐火煉瓦
(釜石市立鉄の歴史館蔵)

高任も技術者として招集された水戸藩の那珂湊反射炉で使用された耐火煉瓦。高温に耐えうる煉瓦の原料は、水戸領内で採取された。



盟約條
(釜石市立鉄の歴史館蔵)

文久元年(1861)、高任や八角らが日新堂の設立を目指して結んだ盟約条。



岩手県指定有形文化財
紙本両鉄鉱山御山内並高炉之図(部分)
(釜石市立鉄の歴史館蔵)

関連イベント(講座・展示資料の解説は要入館料)

○企画展関連講座「近代製鉄の父 大島高任生誕200年～盛岡が生んだ日本産業革命の立役者～」

- 講 師/森 一欽 氏(釜石市教育委員会事務局文化財課世界遺産室長)
- 日 時/令和8年10月31日(土) 午後1時30分～午後3時 ■定員/40人

○学芸員講座「大島高任 一製鉄・教育事業を中心に」

- 講 師/河野聡美(盛岡市先人記念館主任学芸員)
- 日 時/令和8年11月7日(土) 午後1時30分～午後3時 ■定員/40人
- 申 込 両講座とも10月17日(土) 午前9時より電話受付。

○ワークショップ「大人も子どもも レッツ! 鋳造体験」

- 日 時/令和8年10月3日(土) ①午後1時～午後2時30分、②午後3時～午後4時30分
- 参加費/700円 ■定員/各回24名(小中学生及び一般対象)
- 講 師/釜石市立鉄の歴史館職員
- 申 込 9月12日(土) 午前9時より電話受付。

○展示資料の解説

- 日 時/令和8年9月19日(土)、10月25日(日)、11月22日(日) いずれも午後1時30分～午後2時

盛岡市先人記念館

指定管理者:公益財団法人盛岡市文化振興事業団
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字蛇屋敷2-2
TEL 019-659-3338 FAX 019-659-3387

主催:盛岡市先人記念館(所管:盛岡市教育委員会)

公益財団法人盛岡市文化振興事業団

後援:釜石市、釜石市教育委員会

交通
アクセ
セス

- 〔バス〕 岩手県交通「盛南ループ」
県立美術館前下車 徒歩約5分
岩手県北バス イオンモール盛岡南行き
杜の道北(市立病院入口)下車 徒歩約10分
- 〔タクシー〕 盛岡駅より約10分
- 〔徒歩〕 盛岡駅西口(マリオス前)より約15分
- 〔自動車〕 東北自動車道盛岡ICから車で約15分
盛岡南ICから車で約10分

大島 高任 生誕200年事業
特設ページ



釜石市HP

